

## 会議録要旨

(1) 会議の名称	令和7年度 第1回越前市環境審議会委員会
(2) 開催日時	令和7年12月25日（木曜日）14時～15時30分
(3) 開催場所	市民プラザたけふ 4階 多目的ホール
(4) 出席委員氏名	奥村充司委員（会長）、右原まゆみ委員、土田信義委員、細井秀之委員、玉村幸枝委員、木下由美子委員、川端小右衛門委員、磯野泰子委員、岡部巴委員、田淵敬義委員、操上亮二委員（代理：笠原孝幸氏）、小泉貞之委員
(5) 欠席委員氏名	西出和彦委員（副会長）、河野陽子委員、柳川瑠衣委員、土本俊三委員、原寿之委員、山口誠委員
(6) 出席所管課職員職氏名	越前市環境農林部 中島康雄（部長） 同上 農政課 高橋良孝（課長） 同上 環境政策課 三井貴人（課長）、山北剛史（副課長）、中條雄気、近藤航、鈴木正樹
(7) 会議議題	審議（報告）事項 (1) 市の脱炭素の取組みについて (2) 令和7年版環境白書について (3) 環境基本計画具体的目標の進捗状況について 報告事項 (1) (株) 武生環境保全新焼却炉設置計画の進捗について
(8) 傍聴者の数	1人
(9) 会議資料の名称	(資料1) 市の脱炭素の取組みについて (資料2) PFAS（有機フッ素化合物）について (資料3) 令和6年度具体的な指標の達成状況 (資料4) (株) 武生環境保全 産業廃棄物焼却施設の設置計画について 令和7年版環境白書
(10) 会議の内容の要旨	審議（報告）事項 (1) 市の脱炭素の取組みについて事務局から報告・説明 『意見』 ・脱炭素化に向けて越前市はゼロカーボンシティを目指し、

	<p>環境省の脱炭素重点対策事業にも採択されているが、現在、市が行っている事業によって、目標としている二酸化炭素排出量まで削減することができるのか。</p> <p>⇒現在、市が行っている事業だけでは目標達成は厳しいが、家庭や企業に普及していく中で、その波及効果により、将来的に脱炭素化できればと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイシンスポーツアリーナや小学校に設置されている太陽光パネルの耐用年数は何年なのか。また、古くなった後の処分について最近問題視されているが、処分方法についての考えは。</li> </ul> <p>⇒太陽光パネルの耐用年数は 17 年だが、おおむね 25 年から 30 年は使用できると聞いており、処分については様々なリサイクル方法が研究されているので、処分が必要となる 30 年後には環境に悪影響を及ぼさない方法が確立されるのではないかと考えている。</p> <p>(2) 令和 7 年版環境白書について及び(3) 環境基本計画具体的目標の進捗状況について事務局から報告・説明</p> <p>『意見』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境公害等に関する苦情件数が増加しているが、その詳細はどのようなものか。</li> </ul> <p>⇒多くの件数を占めるのがゴミの野焼きであり、行為者に指導している。また、空き地の雑草についても苦情があるので、所有者に土地の管理を行うようお願いしている。</p> <p>報告事項</p> <p>(1) (株) 武生環境保全新焼却炉設置計画の進捗について事務局から説明</p> <p>『意見』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元への説明会では、どのような質問があったのか。</li> </ul> <p>⇒説明会では環境への影響について質問が出たが、地元住民の理解は得られたと聞いている。</p>
(11) その他	—